

常陸牛のアメリカ輸出拡大に向けた試食会を2月1日(金)に ニューヨークの高級和食レストランで開催しました。

茨城県は、常陸牛のアメリカ輸出拡大に向けたプロモーションの第2弾として、昨年10月1日(月)にサンフランシスコで開催した商談・交流会に続き、2月1日(金)にニューヨーク市のマンハッタンにある高級和食レストランにおいて試食会を開催しました。

ニューヨークで活躍しているシェフやレストラン経営者、メディア関係者など30名を対象に、大井川知事から常陸牛や茨城の地酒の美味しさ、笠間焼の魅力などについて直接プレゼンテーションしたほか、常陸牛料理の試食や地酒の試飲を行いました。



大井川知事プレゼンテーション



会場の様子

- 1 日 時 : 平成31年2月1日(金) 18時30分～
- 2 会 場 : EN Japanese Brasserie (ニューヨーク)
- 3 参加者 : レストランシェフ, オーナー, 食肉流通業者, メディア関係者など30名
- 4 内 容 : 大井川知事による常陸牛や地酒, 笠間焼のプレゼンテーション
常陸牛料理の試食や県産地酒の試飲, 意見交換
- 5 結 果 : 知事から参加者に対し、常陸牛は食肉市場において特に肉質の良いものだけを選別していることで品質が高く安定していることや、本県産の地酒は数々の国際的な賞を受賞している事、笠間焼の自由で独創的な作風が国内外で評価されている事などをプレゼンテーションしました。

常陸牛料理を食べた参加者からは、「常陸牛はとても柔らかいうえに甘みが感じられて美味しい」「早くニューヨークへ安定的に供給できるようにしてほしい」といった評価や要望をいただいたことから、県としては、引き続きアメリカへの常陸牛輸出拡大の取組を推進していくこととしています。

※ 本ペーパーに掲載した以外の写真も提供可能ですのでお問合せ下さい。

<お問い合わせ・取材等の連絡先>
農林水産部畜産課 福田, 栗田 (TEL: 029-301-3993 内線 3991)